

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	ストレッチャーによる医療機関施設を破損させた事案
3. 体験した事例の中心的要素	救急出動にて病院到着後、傷病者を処置室まで搬送。救急車に戻る際に、医療機関出入口の扉を別の者に開放してもらい、隊員一人でストレッチャーを屋外へ移動した際、外壁の雨どい(縦どい)にストレッチャーを接触させ破損させたもの。
4. 体験した事例の原因・理由	・搬入口は、通常の搬入口とは区別され、指定された搬入口であり、狭隘、段差及び若干の傾斜がある搬入路であった。 ・隊員一人で移動し、扉付近の障害物(ペール缶)に気を取られた前方不注意であった。

【体験した事例の直接的原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の実行に問題があった。(誤った手順を取った等)
------------------	---------------------------

【体験した事例について】

1. 発生日時	令和4年7月31日 午前11時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外:医療機関の搬入口
4. 体験した事例の種類	
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	その他:物損事故
7. 事例体験時の活動	救急撤収
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	病院へ引継
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）



○当事者A	年齢[33]歳、勤続年数[12]年、現場経験年数[12]年、階級[消防士長] 同様の活動[頻繁]、任務[機関員]
○当事者B	年齢[46]歳、勤続年数[27]年、現場経験年数[27]年、階級[消防司令補] 同様の活動[頻繁]、任務[車長]
○当事者C	年齢[29]歳、勤続年数[11]年、現場経験年数[11]年、階級[消防士長] 同様の活動[頻繁]、任務[隊員]
○その他(当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生時の経過。



	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	A・B・C	救急出動	コロナ陽性者を管外の 二次医療機関まで
経過2	A・B・C	搬送開始	
経過3	A・B・C	病院到着	
経過4	A・B・C	病院収容	コロナ陽性者専用搬入口
経過5	A・B	ストレッチャーを車内収容するために移動	Cは救急車を長時間離れる可能性が あったため車内待機
経過6	A・B	ストレッチャーを雨どいに接触させ破損	
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】



○事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思えるか？

○ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思えるか？

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	はい
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	はい

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	はい
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	はい

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	はい
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	はい

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

ストレッチャーを操作する際は2名で操作する。

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

